

## 浅田レディースクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることに同意されない場合は、当院 WEB サイト「当院における研究活動について」から署名をお願い致します。

研究課題名	Freeze-all により出生した児の予後調査
研究責任者 (研究代表者)	浅田 義正
(多機関共同研究の場合) 共同研究機関の責任者	共同研究機関名： 共同研究責任者：
研究の目的	<p>Freeze-all は採卵後に受精操作を経て得られた胚をすべて凍結する卵巣刺激周期の戦略の一つです。</p> <p>凍結された胚は、採卵とは別の周期に子宮内膜を移植に適した状態に整えた後に融解して移植されます。</p> <p>当院ではこれまでに Freeze-all における凍結融解手順の安全性や、採卵および移植周期のホルモン値から、特に高齢の女性では Freeze-all が着床までに有効であることを示してきました。しかしながら、出生後の児への Freeze-all の影響は検討されていません。</p> <p>そこで本研究では Freeze-all と、凍結せずに胚移植を行う新鮮胚移植によって出生した児の予後調査結果を比較することで、Freeze-all の安全性および有用性について検討を行います。</p>
研究期間	浅田レディースクリニック倫理審査委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日
研究の方法	<p>■対象となる方 2008 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に当院で治療され、凍結または新鮮胚移植後に出産し、1 歳半、3 歳、5 歳時点でのお子さまの予後調査に回答をされた方</p> <p>■利用する試料 なし</p> <p>■利用する情報 診療録および診療記録</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

<p>お問い合わせ先</p>	<p>〒450-0002                  名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 5階                  医療法人浅田レディースクリニック 法人部                  担当者：衣川智樹（キヌガワトモキ）                  TEL：052-551-2251 Email：t_kinugawa@ivf-asada.jp</p>
<p>備考</p>	